

# 1. 調査報告概要表

作成日 平成20年7月10日

## 【評価実施概要】

事業所番号	( 評価機関で記入 ) 3 4 7 0 1 0 3 5 8 5
法人名	医療法人 社団長寿会
事業所名	グループホーム はたのりハピリ
所在地	広島市安芸区中野5丁目13-30 (電 話) 082 - 893 - 3636
評価機関名	特定非営利活動法人西日本医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南4 - 46 - 9
訪問調査日	平成20年7月3日

## 【情報提供票より】( 20年 5月 23日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 15年 9月 1日
ユニット数	3 ユニット 利用定員数計 27 人
職員数	25 人 常勤 14 人, 非常勤 8人, 常勤換算 6.4

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り
	3階建ての 1階 ~ 3階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	円
敷 金	有( 200,000 円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 500 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,500 円

### (4) 利用者の概要( 5月 23日現在)

利用者人数	27 名	男性 4 名	女性 23 名
要介護1	6 名	要介護2	5 名
要介護3	4 名	要介護4	7 名
要介護5	5 名	要支援2	0 名
年齢	平均 83 歳	最低 76 歳	最高 97 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	はたのりハピリ整形外科
---------	-------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームはたのりハピリは、国道からもJR駅からも近く交通の便が良く、又少し小高い場所にあり、景観も良い3階建てのホームです。老人保健施設と併設施設でもあり、本人や家族も安心して過ごされています。入居者は、日常の中で積極的に機能訓練が行なわれていて、日中おむつを使用されている方が、27人中でお一人という他では見られない光景であり、管理者やスタッフの工夫や努力が伺われた。又、入居者の希望で近所のお寺参りも恒例化している。ホーム内に閉じこもらず社会参加を通して生きがいのある生活が送れるよう支援されていて、地域に根ざしたホームである。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	3ユニットが、それぞれ独自性を目指されるとよとの課題でもあったが、ユニット長の個性や入居者の個性でカラーを出して、取り組まれていた。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	介護教室等、地元に戻元する取り組みがなされている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	2ヶ月に1回、運営推進会議が行なわれていて、現在の状況や行事の取り組み等の意見の交換の場となっている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の意見、希望(寺参り、カラオケ等)の対応が早く、信頼関係がある。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	夏祭り、盆踊り、亥の子、とんど、小学校の運動会等、地域との交流が盛んである。

## 2. 調査報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営理念の中に「地域住民の一員として生活する」と掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	談話室等に掲示し、月一度のミーティングの際に読み上げている。ホームの立地も地域に馴染んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会の盆踊り、とんど、亥の子等に参加したり小学校の運動会を観覧したりして交流している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	ユニット毎の特徴を出すの良いのでは、との評価があった。		3人の管理者や入居者の方のカラーが出ていて、各ユニットの特徴が出ていた。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回、開催している。メンバーは町内会長、家族代表、入居者代表、民生委員、地域包括センター職員、老健看護師長、事務長、ホーム管理者が出席し、意見交換をしている。		

グループホーム はたのりハビリ

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	安芸地区のグループホームが集会をする時に市町担当者も参加している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月1回、請求書を送付する時に入居者一人ひとりの状況を手紙に書き、添付している。変化があった時には、その都度、電話で連絡を取っている。		年4回、せせらぎを発行している。
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に「物申す箱」を設置している。意見、苦情は、ミーティングで話し会ったり、運営推進会議にも出して検討している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や退職時には、入居者や家族に説明したり紹介している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	採用時の研修や継続研修が年1回、その他の研修を通して、スキルアップしている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地区に10ヵ所のグループホームがあり、年2回交流している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	早く馴染んでもらうように、皆で対応している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	入居者の方が「働かないから、瓜も伸びんよ」等、会話の中から生活の知恵を学んだり一日を楽しく過ごしてもらえる様に様々な行事予定を組んでいる。		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	出来るだけ本人の要望を聞いて、対応している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	隣接した老健とタイアップした、ケアプランを作成している。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	入居者一人ひとりの更新日に沿ってケアプランを作成し、変化が生じた場合には、その都度、即したケアプランにしている。		

グループホーム はたのりハビリ

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	隣接した老健で、午前中にリハビリ体操をしたり、訪問看護等を利用している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望で、かかりつけ医を決め、きめ細やかな対応をしている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人や家族が、看取りを希望されれば、その都度対応し、全員で情報を共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報、鍵のかかる書棚に保管しており、取り扱いには注意している。		せせらぎ等の発行物に写真が掲載されているが、一応家族の了承を得られるとよい。
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人らしく時間の流れを大切に支援を行なっている。		

グループホーム はたのりハビリ

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の出来る役割を強制ではなく、職員と一緒に配膳や後片付けをしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には、本人の希望に沿った支援をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	クラブ活動に、書道、音楽、手芸、映画鑑賞、園芸等があり、年間行事も季節に沿った行事が行なわれている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日々の散歩や買物等の支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関に鍵はかかってなく、廊下や玄関周りはモニターで確認出来る様になっている。		徘徊センターが設置してある。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災計画に基づき、年2回以上避難、救出訓練を行ない、自治会長の協力も要請している。		

グループホーム はたのりハビリ

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日に1200ccの水分量を目安に摂取してもらっている。個々に合わせて、お茶ゼリーにする等の工夫もしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間や廊下には、季節感(七夕飾り等)が感じられ、又、入居者の方の習字や絵が飾られ、和みの空間作りの工夫がある。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、一人ひとりに合った馴染みのものが置かれ、清潔感が感じられた。		